



# 学校だより

## 5月号

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai3/>

令和2年5月12日

横浜市立洋光台第三小学校

校長 金澤 智美

### 新緑の季節を迎えて

校長 金澤 智美

立夏を過ぎ、初夏を思わせる日差しを浴びて、新緑が美しく輝く季節になりました。正門前のケヤキの木にも、今年も柔らかな若葉が元気よく芽吹いています。緊急事態宣言が延長となり、学校の再開も6月以降に見送られました。当初は、連休明けから運動会の準備に取り組む予定でしたが、今は秋に開催する可能性に希望を託しているところです。

4月8日の臨時休業開始から1ヶ月が経ち、校内では職員が、緊急受け入れや校庭開放に登校する児童の姿に元気をもらいつつ、家で過ごしている多くの児童の様子と現在の状況を案じて過ごしています。便りが無いのは元気な証拠と言われるものの、感染に関するニュースとそれに伴う自粛が求められている中、ご家庭でもさぞかし苦労されていることと推察いたします。5月の風に乗って子どもたちと学びを共にすることができないのは残念ですが、もう少しの辛抱と捉え、学校再開後を楽しみに準備を粛々と進めてまいります。お届けした学習課題の進捗を含めたご家庭での様子など、電話等で伺わせていただくことも考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、今夏の全国高校総体（インターハイ）が中止になりました。大きな目標を失い、不安を抱える高校生に向けたメッセージを、北京五輪銀メダリストの末續慎吾さんが、次のような内容で新聞に寄稿されていました。

「突然、夢や目標がなくなった時、絶望や虚無感を覚えただろう。それは君が本当に真剣だったからだ。」「今できることを真剣にしていれば、その誠実さを見て、過程を見て、導いてくれる大人は必ずいる。」「今は真剣さを失うな。そしてあきらめるな。」

現在、世界中でたくさんの人たちが思いもよらなかった出来事に遭遇し、悩み、苦しみ、一日も早い日常への復帰を願って懸命に努力を続けています。今だからこそ何を思い、何に気付き、何を考え、どのように行動するか。私たち大人の後ろ姿が、未来を創る子どもたちに大きな影響を与えていくことを自覚して、最善を尽くしていきたいと考えます。

皆様のご健康とこの感染の広がりが一日も早く収束に向かうことを、心から祈っております。これからも、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。